

水田農業をめぐる情勢

目 次

概 要

1. 令和7年産米等の作付意向(令和7年1月末現在)
水田における作付意向について(令和7年産第1回中間的取組状況)
2. 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しについて
(参考) 備蓄米の買戻し条件付き売渡し対象米穀
3. 令和6年産米価格動向(令和7年2月末)
4. 集荷、契約、販売状況(令和7年1月末)
5. 民間在庫の動向(令和7年1月末)
6. 米の需給情勢

概 要

令和6年産米の状況

- 令和6年産の相対取引価格は、平成5年産米以来の高価格で推移している。
- 国の報告対象となっている集荷業者の集荷数量が減少していることもあり、民間在庫量は44～45万トン程度の減少が続いている状況。
- こうした中、農水省は、米流通の円滑化を図るとして21万トンの備蓄米を買戻し条件付きで売渡すことを決定し、そのうち150,579トンについて3月10日～12日に入札が行われ、94.2%にあたる141,796トンが落札された。落札平均価格は、税別で21,217円/60kgであり、税込み換算で23,000円弱となる。
不落となった8,783トン(全て5年産米)を含め7万トン(6年産4万トン、5年産3万トン)を対象に第2回入札が3月26日に行われ、落札残がある場合は、27日、28日に行われる旨の公告がされた。
- また、令和7年産備蓄米の買入入札について、「環境が整うまで当面の間延期する」との方針を示した。
- 米の消費動向については、小売事業者向け販売が令和6年9月以降前年同月を下回って推移している。徐々に前年並みに戻りつつあるが、小売価格が上昇している中消費動向は不透明な状況。

令和7年産米に向けた動向

- 水田における作付意向(令和7年1月末時点)
全国の主食用米の作付意向は、128.2万haと令和6年産比2.3万haの増加。増加傾向が19県、前年並み24県、減少傾向4県となっているが、米主産県は全て増加傾向。
- 各県が設定した目安の合計129.7万haよりは1.5万ha少ない水準。
- 福島県の作付意向：主食用米は、3,200haの増加見込みとなっているが、飼料用米、備蓄米について令和6年産実績と同程度としている協議会も多い中での状況。

1. 令和7年産米等の作付意向(令和7年1月末現在)

① 水田における作付意向(令和7年1月末時点)

全国の主食用米の作付意向は、128.2万haと令和6年産比2.3万haの増加。増加傾向が19県、前年並み24県、減少傾向4県となっているが、米主産県は全て増加傾向。

各県が設定した目安の合計129.7万haよりは1.5万ha少ない水準。

なお、国は「今回の意向は市町村の地域再生協議会段階での見通しがほとんどであり、今後、各生産者へ営農計画書等が配布されることから、今後の調査の中で、生産者の作付意向が反映されることにより変動が見込まれるとしている。

② 全国における主食用米の作付意向

③ 福島県における制度別・用途別作付意向

- 主食用米は、3,200haの増加見込みとなっているが、飼料用米、備蓄米についてR6年産実績と同程度としている協議会も多い中での状況。
- 飼料用米は883haの減少見込みとなっているが、一部の市町村では令和6年産実績を仮置きしている協議会もある。
- 備蓄米についても2,204haの減少見込みとなっているが、一部の市町村を除き令和6年産の生産者結び付きの備蓄米の取り組み面積程度としている協議会が多い状況。(令和6年産の結び付きなし備蓄米を面積換算すると1,580ha)

<令和7年産米の制度別・用途別作付意向(令和7年1月末現在)>

単位: ha

年産 項目	6年産 実績 ①	7年産		比較	
		計画 ②	1月末現在 ③	前年実績比 ③-①	計画比 ③-②
主食用作付面積	56,500	56,500	59,739	3,239	3,239
非主食用米等					
SUM(①:⑥)	14,281	14,700	11,176	▲ 3,105	▲ 3,524
①飼料用米	6,967	7,000	6,084	▲ 883	▲ 916
②備蓄米	5,558	5,700	3,354	▲ 2,204	▲ 2,346
③加工用米	429	600	443	14	▲ 157
④WCS	1,098	1,100	1,071	▲ 27	▲ 29
⑤輸出米等	178	250	175	▲ 3	▲ 75
⑥米粉用米他	51	50	49	▲ 2	▲ 1
全水稻作付面積	70,800	71,200	70,883	83	▲ 317

<水田における作付意向(全国 令和7年1月末現在)>

(単位: 万ha)

	主食用米	戦略作物						備蓄米
		加工用米	新市場開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	麦	大豆
令和7年産意向	128.2	4.7	1.2	0.6	8.5	5.7	10.1	8.1
令和6年産実績	125.9	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4
前年対比	2.3	▲ 0.3	0.1	0.0	▲ 1.4	0.1	▲ 0.2	▲ 0.3

<主食用米の作付意向(主な県 令和7年1月末現在)>

(単位: ha)

都道府県	令和7年産意向 (1月末時) ①	令和6年産実績 ②	令和7年産目安 ③	1月末意向と6年産実績の比較		1月末意向と7年産目安の比較	
				増減面積 ①-②	増減比 ①/②	増減面積 ①-③	増減比 ①/③
福島	59,700	56,500	56,500	3,200	105.7%	3,200	105.7%
北海道	87,100	83,700	87,054	3,400	104.1%	46	100.1%
青森	38,600	37,200	36,126	1,400	103.8%	2,474	106.8%
岩手	43,800	43,100	44,389	700	101.6%	△ 589	98.7%
宮城	59,800	58,400	60,199	1,400	102.4%	△ 399	99.3%
秋田	74,000	72,200	72,617	1,800	102.5%	1,383	101.9%
山形	53,700	52,400	54,113	1,300	102.5%	△ 413	99.2%
茨城	62,000	59,900	60,910	2,100	103.5%	1,090	101.8%
栃木	50,900	49,000	50,444	1,900	103.9%	456	100.9%
千葉	49,000	48,300	48,212	700	101.4%	788	101.6%
新潟	102,800	101,400	103,800	1,400	101.4%	△ 1,000	99.0%
(小計)	681,400	662,100	674,364	19,300	102.9%	7,036	101.0%
全国	1,282,000	1,259,000	1,296,714	23,000	101.8%	△ 14,714	98.9%

水田における作付意向について（令和7年産第1回中間的取組状況（令和7年1月末時点））②

都道府県	主食用米			戦略作物														(単位:千ha)	
				加工用米	新規需要米								麦		大豆				
	新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)												
	6年産実績	7年産意向	6年産実績		7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向		
全国計	125.9万	128.2万		50.2	47.3	11.2	11.6	6.3	6.3	98.7	85.1	56.5	56.7	103.1	101.0	84.4	80.8	30.0	25.9
北海道	83.7	87.1	↗	6.8	6.8	2.5	2.8	0.2	0.1	5.3	4.2	2.5	3.0	31.8	29.7	16.5	14.3	1.8	1.8
青森	37.2	38.6	↗	0.7	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	5.4	4.9	0.9	0.9	0.5	0.5	4.8	4.7	4.0	3.3
岩手	43.1	43.8	↗	1.3	1.0	0.4	0.4	0.0	0.0	4.8	4.4	2.5	2.5	3.5	3.5	4.1	4.0	0.6	0.6
宮城	58.4	59.8	↗	0.9	1.0	1.2	1.3	0.1	0.1	7.2	5.7	3.0	3.0	2.2	2.2	9.4	9.4	2.2	2.2
秋田	72.2	74.0	↗	8.4	7.1	0.5	0.6	0.3	0.2	2.5	2.0	1.4	1.4	0.1	0.1	8.5	8.3	2.7	2.7
山形	52.4	53.7	↗	4.3	4.0	0.5	0.5	0.1	0.1	4.7	3.9	1.4	1.4	0.1	0.1	4.5	4.4	3.4	3.2
福島	56.5	59.7	↗	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	7.0	6.1	1.1	1.1	0.4	0.4	0.9	0.9	5.6	3.4
茨城	59.9	62.0	↗	1.3	1.2	1.1	1.1	0.1	0.1	10.3	8.4	0.6	0.6	3.9	3.8	0.7	0.6	0.1	0.1
栃木	49.0	50.9	↗	1.9	2.0	0.1	0.1	0.9	1.0	11.6	9.2	2.3	2.5	7.5	7.6	0.4	0.5	1.1	1.1
群馬	12.8	13.1	↗	1.4	1.4	0.0	0.0	0.2	0.2	1.0	0.9	0.6	0.6	2.2	2.1	0.1	0.1	-	-
埼玉	28.4	28.7	↗	0.1	0.1	0.1	0.1	0.9	0.9	2.1	1.8	0.1	0.1	2.2	2.2	0.4	0.4	0.0	0.0
千葉	48.3	49.0	↗	2.1	2.0	0.0	0.1	0.1	0.1	6.6	6.1	1.3	1.2	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1
東京	0.1	0.1	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.8	2.8	→	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
新潟	101.4	102.8	↗	6.8	6.6	1.8	1.9	1.4	1.4	2.9	2.5	0.7	0.7	0.2	0.2	3.9	3.7	4.7	3.8
富山	31.2	32.0	↗	1.1	1.2	0.4	0.4	0.3	0.3	1.9	1.7	0.5	0.5	3.3	3.3	3.7	3.2	1.8	1.7
石川	21.2	21.6	↗	0.5	0.5	0.1	0.0	0.2	0.2	0.5	0.3	0.1	0.1	1.2	1.0	1.0	0.8	0.2	0.3
福井	21.9	22.5	↗	0.5	0.5	0.3	0.3	0.1	0.1	1.5	0.9	0.2	0.2	5.2	5.0	0.1	0.1	0.7	0.7
山梨	4.6	4.5	→	0.1	0.1	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	-	-
長野	29.0	29.2	→	0.8	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	2.5	2.4	0.6	0.6	0.2	0.2
岐阜	19.6	19.6	→	1.1	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1	2.8	2.7	0.3	0.3	3.7	3.7	0.3	0.3	0.1	0.1
静岡	14.4	14.4	→	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
愛知	25.0	25.0	→	0.6	0.6	0.0	0.0	0.3	0.3	1.3	1.3	0.2	0.2	5.7	5.7	0.1	0.1	0.1	0.1
三重	24.5	24.3	→	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	2.0	2.0	0.3	0.3	7.1	7.0	0.2	0.2	-	-

注1：主食用米の6年産実績は、令和6年12月統計部公表の主食用作付面積。
2：主食用米、戦略作物及び備蓄米の「7年産意向」は、地方農政局等が、1月末時点で都道府県再生協議会等に聞き取った面積。
3：主食用米の「対前年実績」は、6年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。
4：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米）の6年産実績は、取組計画の認定面積。
5：麦、大豆の6年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
6：備蓄米の6年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。
7：麦・大豆の7年産意向は、基幹作の面積。
8：戦略作物及び備蓄米の数値は、6年産実績と比較し、「赤：増加傾向」（1%超増加）、「黒：前年並み」（増減1%以内）、「緑：減少傾向」（1%超減少）で分類。

水田における作付意向について（令和7年産第1回中間的取組状況（令和7年1月末時点））③

（単位：千ha）

都道府県	主食用米			戦略作物														備蓄米	
	6年産実績	7年産意向	対前年実績	加工用米	新規需要米								麦		大豆				
					新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)								
					6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績		
滋賀	27.4	27.7	↗	0.5	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	1.5	1.3	0.3	0.3	8.5	8.5	0.5	0.6	0.2	0.2
京都	13.0	13.1	→	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	-	-
大阪	4.3	4.3	→	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
兵庫	32.2	32.3	→	0.7	0.6	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.7	1.0	1.0	2.0	1.9	1.6	1.5	-	-
奈良	8.0	7.8	↘	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	-	-
和歌山	5.7	5.6	↘	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
鳥取	11.6	11.7	→	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	0.4	0.4	0.1	0.1	0.6	0.6	0.1	0.1
島根	15.7	15.7	→	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.8	0.8	0.3	0.3	0.6	0.5	0.0	0.0
岡山	27.2	27.1	→	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	1.1	1.0	0.5	0.5	1.2	1.2	1.0	1.0	0.0	0.0
広島	20.1	20.0	→	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0
山口	15.8	15.9	→	1.0	1.0	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	0.9	0.4	0.4	0.8	0.9	0.7	0.7	-	-
徳島	9.8	10.0	↗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
香川	9.8	9.6	↘	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	1.2	1.3	0.0	0.0	-	-
愛媛	12.7	12.6	→	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3	-	-
高知	10.1	10.0	→	0.1	0.1	-	-	0.0	0.0	1.0	1.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
福岡	32.2	32.3	→	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	2.2	2.1	2.3	2.3	1.2	1.8	7.7	7.8	0.0	-
佐賀	22.0	22.3	↗	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	2.3	2.3	1.1	0.8	6.5	6.6	-	-
長崎	9.4	9.3	→	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.6	1.6	0.1	0.1	0.3	0.2	-	-
熊本	28.8	28.8	→	0.7	0.7	0.0	0.0	0.2	0.2	1.4	1.4	9.4	9.4	0.8	0.8	2.1	2.1	-	-
大分	17.8	17.6	↘	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	2.8	2.8	0.7	0.7	1.1	1.0	0.0	0.0
宮崎	12.4	12.3	→	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	7.4	7.3	0.0	0.0	0.2	0.2	-	-
鹿児島	15.6	15.6	→	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	4.2	4.2	0.1	0.1	0.3	0.3	-	-
沖縄	0.6	0.6	→	0.0	0.1	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-

注1：主食用米の6年産実績は、令和6年12月統計部公表の主食用米作付面積。

2：主食用米、戦略作物及び備蓄米の「7年産意向」は、地方農政局等が、1月末時点で都道府県再生協議会等に聞き取った面積。

3：主食用米の「対前年実績」は、6年産実績と比較し、「↗：増加傾向」（1%超増加）、「→：前年並み」（増減1%以内）、「↘：減少傾向」（1%超減少）で分類。

4：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米）の6年産実績は、取組計画の認定面積。

5：麦、大豆の6年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

6：備蓄米の6年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

7：麦・大豆の7年産意向は、基幹作の面積。

8：戦略作物及び備蓄米の数値は、6年産実績と比較し、「赤：増加傾向」（1%超増加）、「黒：前年並み」（増減1%以内）、「緑：減少傾向」（1%超減少）で分類。

2. 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しについて

農水省は、米の流通の円滑化を図るとして、21万トンの政府備蓄米を買戻し条件付きで売渡すことを決定し、そのうち150,579トンについて3月10日～12日に入札が行われ、94.2%にあたる141,796トンが落札された。落札平均価格は、税別で21,217円/60kgであり、税込み換算で23,000円弱となる。

第2回入札は、不落となった8,783トン(全て5年産米)を含め7万トン(6年産4万トン、5年産3万トン)を対象に3月26日に行われ、落札残がある場合は、27日、28日に行われる旨の公告がされた。

また、令和7年産備蓄米の買入入札について、「環境が整うまで当面の間延期する」との方針を示した。

<売渡し対象米穀・売渡し予定数量>

- 令和6年産米を中心に5年産も加えて21万トン。
(必要に応じて販売量を拡大する方針)

<売渡対象者(買受者)>

- 国内産米穀の年間玄米仕入量が5,000トン以上の者
- 令和7年8月までの卸売事業者、中食・外食事業者又は小売事業者への販売計画又は販売契約を有する者 等

<申込上限数量>

- 「売渡し予定数量」×「申請者の集荷数量のシェア」

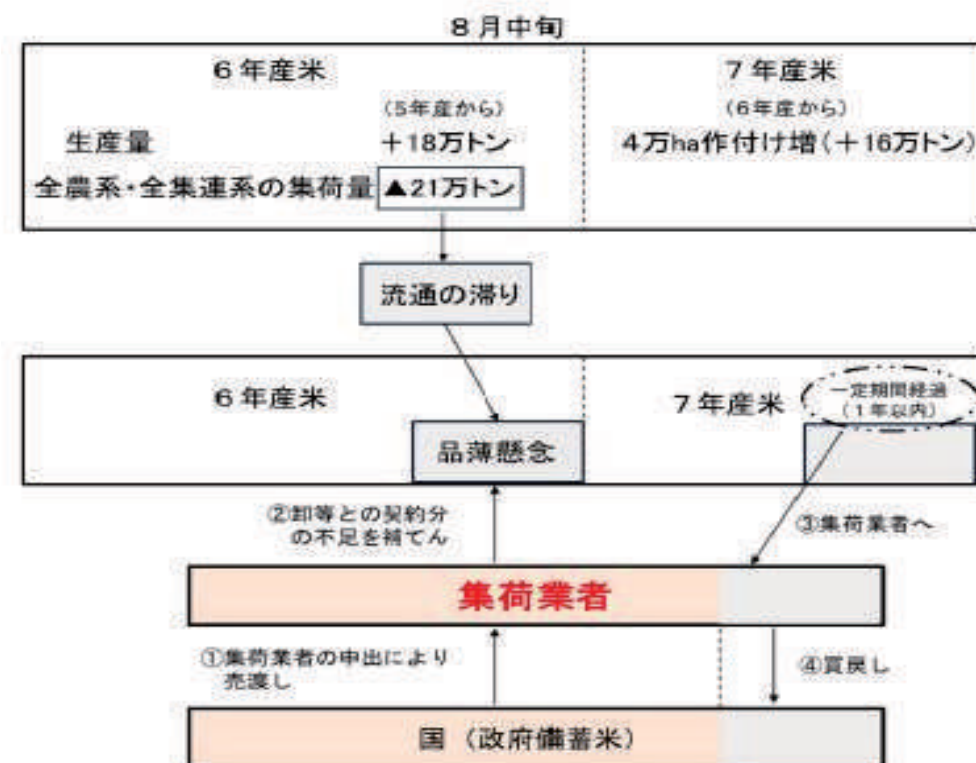
<集荷業者からの買戻し期限>

- 原則として売渡しから1年以内
(双方協議の上延長することも可能)

<買受者の報告、販売に係る情報の公表>

- 買受者は、買い受けた米国の契約数量、販売価格及び販売実績等について隔週・月ごとに報告。
- 国は、買受者、買受者ごとの契約数量、販売価格及び販売実績(買受者全体の販売価格及び販売実績)を取りまとめ農水省HPで公表する。

<買戻し条件付き売渡しのイメージ>



【調査】

農水省は、1月末以降の在庫状況についてこれまでの集荷業者(仕入数量500トン以上)・卸売業者(同4,000以上)に加えて、生産者(抽出)や小規模な集荷業者・卸売業者(同300トン以上)についても調査を実施する。

(参考) 備蓄米の買戻し条件付き売渡し対象米穀

- ① 売渡し対象数量1,000トン以上の産地・銘柄は、下表のとおり。
- ② 数量の多い産地・銘柄のうち山形 はえぬき、青森 まっしぐら等は、集荷数量が前年産比80%台となっている。
- ③ 各銘柄の相対取引価格を見ると必ずしも「上昇幅が大きい」銘柄が対象となっている訳ではない。(新潟 こしいぶきのように上昇率が全国平均を下回っている銘柄もある。)

産地	銘柄	買戻し条件付備蓄米の売渡し予定数量			集荷数量(千トン)				相対取引価格(円/60kg)			
		計(トン)	6年産	5年産	6年産	5年産	6年－5年	6年/5年	6年産	5年産	6年－5年	6年/5年
山形	はえぬき	24,849	8,654	16,195	71.3	87.5	▲ 16.2	81.5%	25,251	14,774	10,477	170.9%
新潟	こしいぶき	22,810	13,065	9,745	33.4	34.1	▲ 0.7	97.9%	20,605	14,696	5,909	140.2%
青森	まっしぐら	20,957	20,957		69.3	81.0	▲ 11.7	85.6%	26,014	14,906	11,108	174.5%
宮城	ひとめぼれ	13,226	6,973	6,253	96.5	107.8	▲ 11.3	89.5%	22,870	14,911	7,959	153.4%
秋田	あきたこまち	10,127	4,666	5,461	161.4	178.2	▲ 16.8	90.6%	24,345	15,349	8,996	158.6%
北海道	ななつぼし	6,648	3,557	3,091	129.4	132.0	▲ 2.6	98.0%	26,329	15,508	10,821	169.8%
福島	ひとめぼれ	6,037	4,154	1,883	25.8	21.5	4.3	120.0%	25,129	14,341	10,788	175.2%
富山	コシヒカリ	4,635	2,734	1,901	44.4	53.5	▲ 9.1	83.0%	23,551	15,743	7,808	149.6%
新潟	コシヒカリ	2,843	1,829	1,014	170.5	181.5	▲ 11.0	93.9%	22,689	16,965	5,724	133.7%
秋田	ひとめぼれ	2,653	171	2,482	16.2	16.9	▲ 0.7	95.9%	22,583	14,347	8,236	157.4%
岩手	ひとめぼれ	2,147	1,402	745	77.0	85.1	▲ 8.1	90.5%	23,037	15,112	7,925	152.4%
福島	天のつぶ	1,909	1,909		27.9	16.6	11.3	168.1%	25,747	13,909	11,838	185.1%
北海道	きらら397	1,415	1,415		19.2	18.3	0.9	104.9%	26,795	14,995	11,800	178.7%
福島	コシヒカリ	1,319	832	487	64.1	70.2	▲ 6.1	91.3%	25,784	14,879	10,904	173.3%
全国		150,579	100,190	50,389	2,210	2,440	▲ 230.0	90.6%	24,055	15,283	8,772	157.4%

注) 集荷数量は、1月末時点の集荷数量。相対取引価格は、出回り～1月末までの平均価格。

福島コシヒカリは、加重平均価格(推計値)、新潟コシヒカリは、一般コシヒカリの価格。

3. 令和6年産米価格動向（令和7年2月末）

- ① 令和6年産の出回り～2月末の相対取引価格は、全銘柄平均で24,383円/60kgと5年産2月末比+9,107円/60kg(160%)となっている。平成5年産の23,607円/60kgを越す水準となっている。
- ② 2月の相対取引価格は、26,485円/60kgと1月の25,927円/60kg対比+558円となっている。
- ③ 相対取引数量も2月末時点で約1,211千トンと前年2月末時点の取引数量より約102千トン多い数量。
- ④ 福島県産では、中通りコシヒカリ26,044円/60kg(前年2月末比175%)、天のつぶ25,746円/60kg(同184%)等いずれも前年産より10,000円以上上昇しており、魚沼コシヒカリと同水準以上の価格となり、高価格帯米とその他の銘柄との価格差がない状況となっている。

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	6年産（令和7年2月末）		5年産（令和6年2月末）		価格推移の状況		6年産月別推移				
		価格	数量	価格	数量	6年産 －5年産	6年産 ／5年産	12月	1月	2月	1月－12月	2月－1月
北海道	ななつぼし	26,595	90,094	15,520	66,044	11,075	171%	26,241	29,409	28,020	3,168	▲ 1,389
青森	まっしぐら	26,227	48,431	15,036	35,727	11,191	174%	25,623	26,716	31,357	1,093	4,641
岩手	ひとめぼれ	23,474	58,639	15,155	55,117	8,319	155%	23,573	25,419	25,005	1,846	▲ 414
宮城	ひとめぼれ	23,455	98,238	14,851	78,111	8,604	158%	21,464	25,531	26,477	4,067	946
秋田	あきたこまち	24,617	114,124	15,345	81,571	9,272	160%	26,768	27,671	25,634	903	▲ 2,037
山形	はえぬき	25,942	40,904	14,703	36,699	11,239	176%	25,997	26,539	26,630	542	91
福島	コシヒカリ（中通り）	26,044	22,848	14,841	25,276	11,203	175%	26,102	26,212	28,606	110	2,394
福島	コシヒカリ（会津）	25,624	21,052	15,339	22,415	10,285	167%	24,375	29,825	27,129	5,450	▲ 2,696
福島	コシヒカリ（浜通り）	25,770	3,126	14,978	3,711	10,792	172%	26,261	28,681	26,788	2,420	▲ 1,893
福島	ひとめぼれ	25,319	12,368	14,446	15,393	10,873	175%	23,343	26,376	28,102	3,033	1,726
福島	天のつぶ	25,746	9,967	14,004	11,233	11,742	184%	25,247	27,076	25,668	1,829	▲ 1,408
茨城	コシヒカリ	27,505	19,700	15,136	27,007	12,369	182%	28,596	28,619	34,567	23	5,948
栃木	コシヒカリ	24,851	43,820	15,215	62,437	9,636	163%	27,111	26,261	26,702	▲ 850	441
千葉	コシヒカリ	24,012	9,950	14,587	21,820	9,425	165%	22,653	24,705	24,281	2,052	▲ 424
新潟	コシヒカリ（一般）	22,864	75,960	16,932	23,156	5,932	135%	24,147	23,471	25,786	▲ 676	2,315
北海道	ゆめぴりか	27,895	52,448	16,609	39,207	11,286	168%	27,728	28,342	30,221	614	1,879
山形	つや姫	27,536	26,377	18,723	22,398	8,813	147%	28,212	28,756	28,282	544	▲ 474
新潟	コシヒカリ（魚沼）	25,518	20,004	20,780	6,993	4,738	123%	26,103	26,478	26,446	375	▲ 32
全銘柄平均価格、合計数量		24,383	1,210,730	15,276	1,108,903	9,107	160%	24,665	25,927	26,485	1,262	558

4. 集荷、契約、販売状況（令和7年1月末）

- ① 全国の集荷数量は2,210千ト（対前年同月比▲230千ト、90.6%）、契約数量は2,009千ト（同▲58千ト、97.2%）、販売数量は778千ト（同+66千ト、109.3%）。契約進捗90.9%、販売進捗35.2%と共に前年産を上回っている。
- ② 福島県の集荷数量は136.0千ト（対前年同月比+17.1千ト、114.4%）、契約数量は82.2千ト（同▲17.6千ト、82.4%）、販売数量は23.6千ト（同+4.4千ト、122.9%）。銘柄別の集荷数量は、ひとめぼれ（同+4.3千ト）、天のつぶ（同11.3千ト）が前年産を上回っているが、コシヒカリはどの地区も前年産を下回っている。なお、主産県で集荷数量が前年産を上回っているのは、本県のほか北海道（前年同月比102%）、千葉県（同105%）。
- ③ 集荷数量の減少要因の一つとして、作況ほど収量が上がっていないとの声があるほか、集荷の競合の影響（報告対象事業者の集荷数量の減少）も現れていると考えられ、契約数量の減少は、集荷の低迷に合わせて取引予定数量が抑制されているとみられる。一方、販売数量は、5年産の品薄状況をカバーする動きから前年同期を上回っていると考えられる。

＜令和6年産米の産地別契約・販売状況（令和7年1月末現在）＞

単位：千ト、%							
区分	銘柄等	年産	集荷数量	契約数量	販売数量	契約進捗	販売進捗
福島	中通りコシヒカリ	6年産	33.5	25.6	7.5	76.4	22.4
		5年産	37.1	31.0	6.2	83.6	16.7
		比率・差	90.3	82.6	121.0	▲ 7.1	5.7
	会津コシヒカリ	6年産	26.8	20.8	3.0	77.6	11.2
		5年産	28.2	26.4	2.6	93.6	9.2
		比率・差	95.0	78.8	115.4	▲ 16.0	2.0
	浜通りコシヒカリ	6年産	3.8	3.1	0.7	81.6	18.4
		5年産	4.9	4.3	0.7	87.8	14.3
		比率・差	77.6	72.1	100.0	▲ 6.2	4.1
	ひとめぼれ	6年産	25.8	13.3	4.6	51.6	17.8
		5年産	21.5	17.0	2.9	79.1	13.5
		比率・差	120.0	78.2	158.6	▲ 27.5	4.3
	天のつぶ	6年産	27.9	12.1	4.0	43.4	14.3
		5年産	16.6	14.2	4.0	85.5	24.1
		比率・差	168.1	85.2	100.0	▲ 42.2	▲ 9.8
	全体	6年産	136.0	82.2	23.6	60.4	17.4
		5年産	118.9	99.8	19.2	83.9	16.1
		比率・差	114.4	82.4	122.9	▲ 23.5	1.2
全国		6年産	2,210.0	2,009.0	778.0	90.9	35.2
		5年産	2,440.0	2,067.0	712.0	84.7	29.2
		比率・差	90.6	97.2	109.3	6.2	6.0
参考 新潟	コシヒカリ一般	6年産	117.3	112.1	38.0	95.6	32.4
		5年産	133.2	118.6	35.2	89.0	26.4
		比率・差	88.1	94.5	108.0	6.5	6.0

注）報告対象事業者は、全農等道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000ト以上）。

＜集荷業者による集出荷数量速報値（前年同期比）＞

	9月20日までの累計	9月30日までの累計	10月10日までの累計	10月20日までの累計	10月31日までの累計
生産者等⇒集荷業者	77%	77%	85%	79%	82%
集荷業者⇒卸売業者等	210%	186%	160%	132%	133%

（農水省「令和6年度 米の流通状況等について」より）

＜卸売業者の精米の販売数量・速報値（前年同期比）＞

	9/21～ 9/27	9/28～ 10/4	10/5～ 10/11	10/12～ 10/18	10/19～ 10/25	10/26～ 11/1	11/2～11/8 (見込み)
販売数量	76%	73%	77%	77%	87%	89%	98%
うち6年産米	100%	88%	81%	81%	90%	102%	111%

※ 大手卸売業者（10社・流通シェア約3割）スーパー等への精米への販売数量

6年産米は、9/28～10/4までは9社、10/5～10/11以降は8社の集計値。

（農水省「令和6年度 米の流通状況等について」より）

5. 民間在庫の動向（令和7年1月末）

- ① 令和7年1月末の民間在庫は、全国で230万ト（前年同月比▲43万ト）、9月以降44～45万ト程度前年度を下回って推移している。令和6年6月末における在庫量の減少幅44万ト（153～197万ト）に相当する量か継続して減少している形となっている。
- ② 出荷段階の在庫は、減少傾向が続いているが、販売段階の在庫は、前年同月比＋4～5万ト程度で推移している。
- ③ 福島県の1月末在庫は、171.1千トと前年同月比＋11.8千トと12月以降増加に転じている。集荷数量の増加を反映したものと考えられるが、主産県で民間在庫が増加しているのは本県のみとなっている。

<民間在庫の推移>

（単位：全国 万ト、福島千ト）

		11月末			12月末			1月末			11月末		12月末		1月末	
		6年産	5年産	4年産	6年産	5年産	4年産	6年産	5年産	4年産	6年-5年	5年-4年	6年-5年	5年-4年	7年-6年	6年-5年
福島県	出荷＋販売段階	176.8	180.2	176.7	183.9	174.2	172.8	171.1	159.3	160.7	▲ 3.4	3.5	9.7	1.4	11.8	▲ 1.4
	当 年 産 米	162.8	147.0	140.9	176.2	154.5	146.3	167.0	146.3	141.1	15.8	6.1	21.7	8.2	20.7	5.2
	(1 年 古 米)	13.7	32.0	33.1	7.4	18.9	24.2	3.9	12.3	17.9	▲ 18.3	▲ 1.1	▲ 11.5	▲ 5.3	▲ 8.4	▲ 5.6
	出荷段階	138.2	148.4	137.6	145.7	141.8	134.8	136.0	129.4	126.2	▲ 10.2	10.8	3.9	7.0	6.6	3.2
	当 年 産 米	132.5	125.4	119.1	143.2	130.0	122.4	134.6	121.6	117.6	7.1	6.3	13.2	7.6	13.0	4.0
	(1 年 古 米)	5.7	22.5	16.7	2.5	11.6	10.8	1.3	7.6	7.4	▲ 16.8	5.8	▲ 9.1	0.8	▲ 6.3	0.2
	販売段階	38.6	31.8	39.1	38.2	32.4	38.0	35.2	30.0	34.5	6.8	▲ 7.3	5.8	▲ 5.6	5.2	▲ 4.5
	当 年 産 米	30.3	21.6	21.9	33.0	24.5	23.9	32.3	24.7	23.4	8.7	▲ 0.3	8.5	0.6	7.6	1.3
	(1 年 古 米)	8.0	9.5	16.4	4.9	7.3	13.3	2.6	4.7	10.4	▲ 1.5	▲ 6.9	▲ 2.4	▲ 6.0	▲ 2.1	▲ 5.7
全国	出荷＋販売段階	260	303	330	253	298	328	230	274	306	▲ 43	▲ 26	▲ 44	▲ 31	▲ 44	▲ 32
	当 年 産 米	235	254	263	235	260	273	216	245	259	▲ 19	▲ 9	▲ 25	▲ 13	▲ 29	▲ 14
	(1 年 古 米)	18	36	49	11	27	40	7	21	33	▲ 18	▲ 13	▲ 16	▲ 13	▲ 14	▲ 12
	出荷段階	201	249	277	197	246	276	180	228	259	▲ 48	▲ 28	▲ 48	▲ 31	▲ 48	▲ 31
	当 年 産 米	190	220	231	191	225	239	176	212	228	▲ 30	▲ 11	▲ 34	▲ 14	▲ 36	▲ 16
	(1 年 古 米)	8	24	36	5	17	29	3	13	24	▲ 16	▲ 12	▲ 12	▲ 12	▲ 10	▲ 11
	販売段階	59	54	52	56	52	52	50	46	47	5	2	4	0	4	0
	当 年 産 米	44	34	32	44	35	35	40	32	31	10	2	9	0	8	1
	(1 年 古 米)	9	12	13	6	10	10	4	8	8	▲ 3	▲ 1	▲ 4	0	▲ 4	0

6. 米の需給情勢

- ① 米穀販売事業者における販売数量の動向(令和7年1月)
- ア 前年同月比97.2%(うち小売事業者向けは同94.1%、中食・外食事業者等向けは同100.9%)。
- イ 9月以降前年同月を下回る状況となっているが、減少幅は縮小しつつある。(なお、9月に前年同月を下回ったが、令和5年7月以来のこと)。
- ② 米取引関係者の需給及び価格動向に関する判断(令和7年1月)
- ア 米の需給動向については、依然高い水準にあり、需給は引き続き締まるとの見方が強い。
- イ 価格水準の「見通し判断」が54と「大幅に減少」し、価格上昇に一服感が認められる。
- ウ 判断の際考慮した要因としては、「米の調達状況」が40%と最も多いが「国の政策」をあげる割合が28%(前月7%)と増加した。

<米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)>

	5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月
小売事業者向け	101.3%	98.3%	100.8%	106.7%	99.5%	101.6%	103.6%	102.5%	104.7%	105.0%	103.8%	105.5%
(※令和元年との比較)	(103.2%)	(101.8%)	(101.1%)	(107.7%)	(101.3%)	(99.2%)	(107.1%)	(100.3%)	(101.8%)	(103.8%)	(107.5%)	(110.2%)
中食・外食事業者等向け	107.1%	102.8%	101.7%	106.4%	104.4%	107.2%	105.9%	105.2%	105.2%	105.3%	101.8%	103.2%
(※令和元年との比較)	(94.4%)	(94.3%)	(95.0%)	(99.1%)	(99.4%)	(97.3%)	(97.4%)	(101.8%)	(100.4%)	(99.5%)	(98.1%)	(95.6%)
販売計	103.8%	100.2%	101.2%	106.5%	101.6%	104.1%	104.7%	103.7%	104.9%	105.1%	102.9%	104.5%
(※令和元年との比較)	(99.1%)	(98.3%)	(98.4%)	(103.8%)	(100.5%)	(98.3%)	(102.4%)	(101.0%)	(101.2%)	(101.8%)	(103.0%)	(103.0%)

	6年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月
小売事業者向け	108.0%	106.5%	107.6%	105.8%	114.1%	104.4%	100.0%	86.3%	84.7%	93.0%	92.3%	94.1%
(※令和元年との比較)	(111.4%)	(108.4%)	(108.8%)	(114.0%)	(115.6%)	(103.5%)	(107.0%)	(86.6%)	(86.2%)	(96.5%)	(99.2%)	(103.7%)
中食・外食事業者等向け	106.1%	100.4%	98.9%	102.7%	97.5%	99.2%	100.0%	96.5%	99.6%	100.4%	100.5%	100.9%
(※令和元年との比較)	(100.1%)	(94.7%)	(94.0%)	(101.7%)	(97.0%)	(96.6%)	(97.4%)	(98.3%)	(100.0%)	(99.9%)	(98.6%)	(96.4%)
販売計	107.2%	103.8%	103.8%	104.5%	106.8%	102.0%	100.0%	91.0%	91.6%	96.4%	96.0%	97.2%
(※令和元年との比較)	(106.2%)	(102.1%)	(102.1%)	(108.4%)	(107.3%)	(100.3%)	(102.4%)	(91.9%)	(92.7%)	(98.1%)	(98.9%)	(100.1%)

<米取引関係者の判断に関する調査結果(米穀機構)の推移>

		令和5年			令和6年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
主食用米の 需給動向	現状判断	67	69	69	72	75	76	77	79	85	85	89	78
	見通し判断	64	66	65	67	72	73	75	78	77	67	70	60
主食用米の 米価水準	現状判断	60	61	63	65	67	70	76	79	80	82	86	90
	見通し判断	68	63	60	62	66	67	70	73	63	66	70	57

		令和6年			令和7年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
主食用米の 需給動向	現状判断	76	78	85	87	89							
	見通し判断	66	71	80	82	72							
主食用米の 米価水準	現状判断	90	89	92	92	95							
	見通し判断	59	67	76	77	54							

<スーパーでの販売数量の推移(POSデータ 全国)>

- 令和6年4月以降の販売量は、令和4年及び5年と比較して堅調に推移。
- 令和6年8月は南海トラフ地震臨時情報(8月8日発表)、その後の地震、台風等による買い込み需要が発生したこと等により、8月5日以降伸びが著しい週が3週継続。
- 9月2日以降の週は概ね前年を下回る水準で推移し、令和7年3月3日の週は対前年同期▲11.6%。



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗のスーパー、生協等)に基づいて農林水産省が作成。
注：週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは異なる場合がある。

<スーパーでの販売数量の状況> (単位:トン)

	7~8月	9月	10月	11月	12月	7~12月
R5年	7,507	3,388	3,874	3,000	3,252	21,020
R6年	8,841	2,890	3,353	2,797	3,130	21,010
前年差	1,334	▲498	▲521	▲203	▲121	▲10
前年差	117.8%	85.3%	86.6%	93.2%	96.3%	100.0%